

## 平成 27 年度（公社）茨城県青少年育成協会事業報告

### 実 施 事 業 の 概 要

明日の茨城を担う青少年が健やかにたくましく成長し、社会の一員としての役割を担い、活力に満ちた地域社会を創り上げていくことは、県民すべての願いである。

しかしながら、核家族化、少子化、高度情報化等の進展と共に、社会体験・自然体験等の減少、地域の連帯感・人間関係の希薄化、有害情報の氾濫等々による青少年の規範意識や社会性の低下、思いやりの心の欠如、いじめや少年による凶悪事件、さらに、ニート・引きこもりなどに象徴される若者の社会的自立の遅れといった様々な憂慮すべき問題が生じており、支援を要する青少年・若者が増えつつある。

この様に、今日の青少年問題の背景には、大人社会の在り方や家庭における教育の在り方が密接に関係しており、本会は特に子の教育について基本的役割を担う親に、その責務について一層の自覚と役割を果たすことを願い、「親が変われば、子どもも変わる」運動を育成活動の根幹に据え、次の7項目を取り組みの重点目標として、青少年育成市町村民会議や関係機関・団体と連携・協力し各種活動を展開した。

- 1 「親が変われば、子どもも変わる」運動の推進
- 2 「あいさつ・声かけ運動」や「地域親」普及運動の推進
- 3 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進
- 4 青年リーダー等育成事業の充実・強化
- 5 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTA、関係団体等との連携強化
- 6 青少年健全育成県民運動推進体制の充実・強化
- 7 県立青少年会館の運営に関わる事業の充実

- 1 「親が変われば、子どもも変わる」運動の推進では、モデル的な事業を行う団体を公募し、5団体を指定して運動を推進するとともに、青少年健全育成茨城県推進大会を開催し、青少年の育成に果たす親、家庭、学校、地域のそれぞれの役割についての理解と認識を深め、運動の一層の推進を図った。

- 2 「あいさつ・声かけ運動」では、ポスターを作成するとともに「いばらき教育月間」に呼応し、11月を「あいさつ・声かけ運動」強調月間と定め、青少年育成市町村民会議、団体、学校等と連携して、運動の一層の推進を図った。
- 3 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進では、「家庭の日」を主題とした絵画やポスターを募集し、優秀作品を青少年健全育成茨城県推進大会会場に展示するほか、「いばらき結婚・子育てわくわくキャンペーン県全域事業」を茨城県と共催するなど「家庭の日」の普及啓発を図った。
- 4 青年リーダー等育成事業の充実・強化では、国際交流に取り組む活動団体を公募し、1団体を指定。若者の国際感覚を養うと共に地域活動のリーダー育成に努めた。また、地域における若者の活動を支援し、地域の活性化と若者活動の活性化を図るため「いきいきと活躍する若者支援事業」を実施した。さらに、中学生による「少年の主張茨城県大会」を開催し、少年に社会の一員であることの自覚と青少年の健全育成に対する県民の理解と関心を高めた。
- 5 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTA、関係団体等との連携強化では、青少年育成市町村民会議等が開催する各種会議、研修会等への参加を通して、情報の提供及び活動の支援を行うと共に、青少年育成活動推進意見交換会を開催し、それぞれの団体の課題等について意見交換を行い、今後の在り方等を検討した。
- 6 青少年健全育成県民運動推進体制の充実・強化では、賛助会員の新たな加入や寄付の受け入れなどを積極的に推進し、自主財源の確保に努めるとともに、当協会の機関紙「あけぼの」の発行、ホームページの運営、各種リーフレットの作成などにより、青少年育成県民運動の普及に努めた。
- 7 県立青少年会館の運営に関わる事業の充実では、ホームページやリーフレットなどの活用により施設のPRに努めるとともに、特に宿泊室については、インターネット予約サイトの活用や割引料金の適用など、サービスの充実を図り利用増加に努めた。

# 実 施 事 業 の 内 容

## I 県民運動推進事業

### ◎ 県青少年育成協会の組織体制

役員	会長	1名	副会長	7名				
	理事	29名	(会長、副会長を含む。)					
	監事	2名						
事務局職員	局長	1名	係長	1名	主任	1名	主事	1名
	常勤嘱託員	1名	臨時職員	1名	非常勤嘱託員	6名		

### 1 役員等に関する事項

#### (1) 総会等

##### ①平成 27 年度定時総会

- ・開催日 平成 27 年 6 月 26 日(金)
- ・会 場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議 事 平成 26 年度事業報告・収支決算、役員の補欠選任
- ・出席正会員 103 名中 88 名(書面表決者 40 名を含む)
- ・平成 26 年度事業報告並びに収支決算を承認するとともに役員の補欠選任について議決した。
- ・平成 26 年度青少年の健全育成に多大な成果をあげた 10 団体へ感謝状を贈呈した。

#### (2) 理事会等

##### ①第 1 回理事会

- ・開催日 平成 27 年 6 月 4 日(木)
- ・会 場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議 事 定時総会に上程する議案、法人運営等
- ・出席理事 29 名中 21 名
- ・平成 27 年度定時総会付議事項等について審議し議決した。

##### (議案)

- 平成 26 年度事業報告並びに収支決算について
- 役員の補欠選任について
- 名誉会長の推薦について
- 顧問及び参与について
- 感謝状の贈呈について
- 平成 27 年度定時総会の開催について
- ・事業の執行状況について報告した。
- ・「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業、「企画提案チャレンジ支援事業」及び「青少年・若者国際交流事業」について、周知及募集

の依頼を行った。

## ②第2回理事会

- ・開催日 平成28年3月11日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 平成28年度活動方針並びに事業計画(案)、平成28年度収支予算(案)、感謝状の贈呈について
- ・出席理事 29名中24名
- ・平成28年度活動方針並びに事業計画(案)、平成28年度収支予算(案)、について審議し議決した。
- ・事業の執行状況、青少年団体等顕彰受賞者、感謝状の贈呈及び「家庭の日」絵画・ポスター応募状況と優秀作品について報告した。

## ③役員連絡会議の開催

- ・開催日 平成28年2月26日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 第2回理事会等に上程する議案
- ・出席理事 9名
- ・第2回理事会等に上程する議案等について協議した。

## ④監査の実施

- ・開催日 平成27年5月29日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・内容 宮島孝明監事、佐藤政雄監事による平成26年度事業報告及び決算について監査を行った。

## 2 県民運動推進事業

### (1) 青少年育成活動推進意見交換会

#### ①第1回

- ・開催日 平成27年6月26日(金) (定時総会終了後に開催)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・出席者数 154名
- ・平成26年度「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業を実施した埴山学区住みよいまちをつくる会(日立市)及び青少年育成龍ヶ崎市民会議(龍ヶ崎市)から活動事例発表を行った。
- ・県青少年育成協会への要望、実施事業に対しての意見交換を行った。

#### ②第2回

- ・開催日 平成28年3月29日(火) (青少年団体等表彰式終了後に開催)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・出席者数 142名

- ・平成 28 年度活動方針並びに事業計画・収支予算について説明した。
- ・県青少年育成協会への要望、実施事業に対しての意見交換を行った。

## (2) 広報活動

青少年育成県民運動を広報啓発するため、ホームページ、機関紙等の各種媒体を活用して広報活動を行った。

機関紙「あけぼの」

第 128 号 平成 28 年 3 月発行 12 ページ 7,000 部

配付先 市町村、市町村民会議、正会員、賛助会員、県等関係機関・団体、都道府県民会議等

## (3) 各種表彰

### ①青少年団体等顕彰

地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体、青少年、青少年育成団体及び青少年育成指導者を表彰し、その活動を奨励した。

顕彰選考委員会 平成 28 年 2 月 26 日(金)

県立青少年会館で開催 選考委員 8 名出席

表彰式 平成 28 年 3 月 29 日(火)

県立青少年会館で開催 142 名出席

顕彰件数 17 件 (青少年団体 7 団体 青少年 1 名 青少年育成団体 3 団体 青少年育成指導者 6 名)

### ②感謝状贈呈

青少年育成県民運動に貢献した団体等へ感謝状を贈呈した。

ア 贈呈式 平成 27 年 6 月 26 日(金) (平成 27 年度定時総会時に開催)

贈呈件数 平成 26 年度「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業を実施した 10 団体

イ 贈呈式 平成 28 年 3 月 29 日(火) (平成 27 年度青少年団体等表彰式の際に開催)

贈呈件数 平成 27 年度青少年育成県民運動に貢献した 3 団体

- ・鹿嶋市青少年育成市民会議
- ・(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー
- ・ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

## (4) 会議等への出席

青少年育成県民運動の連携を図るため、県関係機関、団体が行う青少年健全育成関係諸会議、大会等へ出席・参加し、協力・連携を深めながら効果的な運動の推進を図った。

また、20 の機関、団体の事業に対し後援を行った。

## (5) 青少年心理アドバイザーの派遣

青少年育成者の資質向上と地域活動の促進を図るため、青少年心理やカウンセリング等に専門的な技術や知識を有する「青少年心理アドバイザー」

を、地域で開催する研修会等へ派遣した。

- ・青少年心理アドバイザー 13人（登録）
- ・派遣 4回

(6) 青少年関係事業の相談等

青少年団体活動、青少年育成活動に関する相談に応じたほか、研修会等への講師の派遣、斡旋を行った。

3 青少年育成県民運動の周知強化事業

青少年育成県民運動の充実と一般県民等へ更なる周知を図るため、賛助会員及び事業協賛金等の募集活動を行った。

(1) 新賛助会員の確保

実績 63,000円（新規加入 法人3口、個人7口 特別賛助会費 12口）

(2) 協賛金・活動助成金等の受入

協賛金	水戸西ライオンズクラブ	50,000円
	日本たばこ産業株式会社東関東支社	100,000円
活動助成金	ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区	300,000円

II 地域活動推進事業

1 市町村民会議活動の推進

地域において青少年育成運動を総合的に推進している市町村民会議等の活動と組織充実のために支援を行った。

(1) 市町村民会議活動の支援

市町村民会議の活動が促進されるよう市町村民会議の総会、研修会等に出席したほか、講師を派遣するなどして活動の支援を行った。

(2) 市町村民会議の結成促進

市町村民会議未結成市町へ訪問し結成促進を図った。

- ・訪問市町 阿見町

(3) 地区市町村民会議連絡会活動の支援

①地区市町村民会議連絡会の活動充実を図るため、各地区で開催される研修会(情報交換会等)に1万円の助成を行った。(27年度事務局)

- ・水戸地区青少年育成市町村民会議連絡会（茨城町）
- ・大宮地区青少年育成市町村民会議連絡会（ひたちなか市）
- ・県北地区青少年育成市町村民会議連絡会（常陸太田市）
- ・鹿行地区青少年育成会連絡会（鹿嶋市）
- ・土浦地区青少年育成市民会議連絡会（石岡市）
- ・稲北地区青少年育成市町村民会議連絡会（阿見町）
- ・県西東部地区青少年育成市町村民会議連絡会（筑西市）
- ・県西西部地区青少年育成市町村民会議連絡会（古河市）

②地区市町村民会議連絡会の総会、研修会に出席しての活動の支援を行

った。

## 2 市町村民会議会長・事務局長・青少年行政担当者等研修会

平成 27 年 5 月 25 日(月) 県立青少年会館で開催 31 市町村、119 名出席

内容 ○平成 27 年度青少年育成県民運動推進の説明

・県青少年育成協会の実施事業

○情報提供 「今日的な青少年の問題」について

①茨城県内の生徒指導の現状について

講師：茨城県教育庁学校教育部義務教育課 生徒指導推進室  
室長補佐 志賀正章様

②今時の子供たちのネット・ケータイ ～子供たちのトラブルと背景～

講師：一般財団法人 草の根サイバーセキュリティ運動全国  
連絡会 常務理事 吉岡良平様

○分散会 「青少年問題に対する方策について」

○全体会

## 3 青少年育成市町村民会議訪問懇談会の開催

当協会役職員が市町村民会議を訪問し、青少年育成活動の進め方等について関係者と意見交換を行い、県民運動の普及と市町村民会議の活動促進を図った。

懇談会実施市町村民会議

・青少年育成つくばみらい市民会議(つくばみらい市)

平成 28 年 2 月 4 日(木) つくばみらい市教育委員会庁舎会議室で開催

9 名出席

・青少年を育むふるさと運動推進会議(八千代町)

平成 28 年 3 月 7 日(月) 八千代町役場本庁舎会議室で開催 9 名出席

## Ⅲ 青少年健全育成事業

### 1 少年の主張茨城県大会の開催

少年の社会への関心や視野を広めるとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを図るため、県内中学生から主張文を募集し、優秀者 10 名が発表する県大会を開催した。

主張発表記録集を作成し中学校等に配付した。

また、全国大会出場候補者として、最優秀者(茨城県知事賞受賞者)を関東甲信越静ブロック審査(書類審査)へ推薦した。

・発表大会 平成 27 年 9 月 26 日(土) 鹿嶋勤労文化会館(鹿嶋市)で開催

・参加者 733 名(市内中学生、市町村民会議、青少年育成関係者等)

・応募者総数 18,088 名(134 中学校、35 市町村)

・県青少年育成協会への推薦 234 作品

- ・最優秀者（茨城県知事賞） 鹿嶋市立鹿島中学校 1年 重松 晃
- ・発表記録集の作成 1,500部  
配付先 中学校、市町村教育委員会、市町村民会議、正会員、県関係機関・団体等

## 2 青少年・若者国際交流事業の推進

日本の伝統文化や郷土愛を醸成し、青少年や若者の国際感覚を養うとともに、地域活動のリーダーとして育成するため、国際交流に取り組む活動団体を公募、指定し、1団体へ助成金100万円を交付し、事業を実施した。

- ・実施団体 茨城県日中友好協会青年委員会
- ・参加者数 男性8名、女性5名、計13名（大学生6名、高校生7名）
- ・研修内容
  - 海外研修 平成27年7月24日(金)～27日(月)  
訪問国 中華人民共和国（北京市 紅領巾公園 他）  
内 容 国際交流会、音楽交流会、ボランティア活動  
青少年交流キャンプなど
  - 事後研修① 平成27年8月29日(土)  
事後研修② 平成28年2月27日(土)  
内 容 海外研修振り返り、国際交流講演会など
  - 報告会 平成27年11月28日(土)  
内 容 反省会、本年実施ビデオ上映会など

## IV 明るく楽しい家庭づくり・「地域親」推進事業

### 1 「親が変われば、子どもも変わる」運動の推進

#### (1) 「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業の実施

家庭の親一人ひとりが改めて自らを振り返り、子育てについての意識を新たにし、子どもたちの手本になれるような活動の実践を促すため、親子がふれあいながら絆を深め、豊かな心と健やかな身体を育むことを目的として、本運動の普及啓発に取り組む団体を公募し、5団体を指定するとともに1団体10万円を限度として助成し事業を実施した。

また、事業内容を機関紙「あけぼの」及びホームページ等で紹介した。

No.	実施団体 (所在地)	事業名
1	特定非営利活動法人ひたち親子の広場 (日立市)	3回シリーズ芸術で高める親の力 ～感動を力に変えるマジック～
2	北茨城市更生保護女性会 (北茨城市)	みんなでワクワクたのしい ね！！
3	特定非営利活動法人 華の幹 (つくば市)	親子で家にあるもの使ってサバイバル



4	いばらきハッピー応援隊 (城里町)	母親(わたし)が輝くおもてなし 講座
5	親子自然体験クラブ 森のきのこ (阿見町)	里山プレーパークをつくろう in 阿見

○推進事業審査委員会 平成27年7月15日(水) 県立青少年会館

○事業推進会議の開催 平成27年7月29日(水) 県立青少年会館

(2) 「親が変われば、子どもも変わる」運動普及啓発の実施

① 「親が変われば、子どもも変わる」運動リーフレット(改訂版)の作成

・作成部数 10,000部

② 青少年のお手本となるべき大人へ公共マナー(歩きスマホ)について、茨城県等が主体となって実施した街頭キャンペーンにて、リーフレット「親が変われば、子どもも変わる」運動の配布等により、「ながらスマホ0(ゼロ)県民運動」を啓発した。

2 「地域親」普及運動の推進

(1) 「地域親」実践活動である「あいさつ・声かけ運動」の推進

地域の大人と子ども、大人同士、子ども同士のコミュニケーションを広げる「きっかけ」とするため、家庭、学校、地域の中で日々「あいさつ・声かけ」が交わされるよう、県民や関係機関・団体への普及啓発に取り組むとともに、青少年育成市町村民会議等が推進主体になって地域で運動を展開するよう支援した。

① 「あいさつ・声かけ運動」ポスターの作成

11月の「あいさつ・声かけ運動」強調月間に向けてポスターを作成し、市町村及び関係機関・団体等へ配付して、「あいさつ・声かけ運動」の普及・啓発を図った。

○ ポスター作成 B2版 3,000枚

○ チラシ作成 A4版 15,000枚

○ 配付先 市町村(公共機関を含む) 保育所 幼稚園 小・中学校、高等学校 大学 関係機関・団体 企業等

② 「あいさつ・声かけ運動」強調月間街頭キャンペーンの実施

「あいさつ・声かけ運動」街頭キャンペーンを茨城県教育委員会が行う「いばらき教育の日・教育月間キャンペーン」、「さわやかマナーアップキャンペーン」と連携し、広く県民に「あいさつ・声かけ運動」を周知するとともに県民自ら実践するよう呼びかけた。

実施場所	期 日	時 間	参加者
水戸駅	11月 2日 (月)	7時20分～8時30分	356
日立駅	11月 2日 (月)	7時00分～8時00分	136

十王駅	11月5日(木)	7時10分～8時10分	219
常陸多賀駅	11月9日(月)	7時10分～8時10分	24
小木津駅	11月9日(月)	7時00分～8時00分	30
大みか駅	11月10日(火)	7時30分～8時30分	92
新鉾田駅	11月4日(水)	7時10分～8時30分	56
土浦駅	11月2日(月)	7時20分～8時30分	298
下館駅	11月6日(金)	7時20分～8時20分	95
つくば駅	11月9日(月)	7時20分～8時00分	90
守谷駅	11月13日(金)	7時15分～8時10分	253

※参加者は、「さわやかマナーアップキャンペーン」「いばらき教育の日・教育月間」キャンペーン 関係を含む全体参加者数

### ③啓発資料の作製

11月の強調月間活動用のぼり旗及びポケットティッシュについて市町村、市町村民会議等との共同作製を斡旋した。

#### ・のぼり旗の作製

共同作製 15市町村(26団体) 計1,654枚

#### ・ポケットティッシュ 15,000個(街頭キャンペーンで配布)

共同作製 13市町村(15団体) 計30,000個

### (2) 地域親の登録と派遣

地域親の普及と地域活動の一層の推進を図るため、平成17年度に設置した「青少年を育む地域親人材バンク」を運営し、地域が開催する行事や研修会等に派遣した。

地域親登録者 192人

団体登録 12団体 94人

個人登録 98人

地域親派遣数 3件(派遣要請による地域親)

## 3 明るく楽しい家庭づくり運動の推進

### (1) 「家庭の日」の推進

家族の絆を深め、家庭を大切に、明るく豊かな家庭を築く「家庭の日」(第3日曜日)を推進した。

#### ①「家庭の日」絵画・ポスターの募集

市町村を単位に小学生の部、中学生の部、各3作品以内として募集を行った。

応募のあった作品は、青少年健全育成茨城県推進大会会場に展示し、大会参加者が選定した最優秀作品6作品を機関紙「あけぼの」及びホームページで紹介し、「家庭の日」の普及を図った。

#### ○応募状況

・市町村応募数(21市町村)

小学生の部 3,537 作品 中学生の部 602 作品 合計 4,139 作品

・県青少年育成協会への推薦

小学生の部 62 作品 中学生の部 43 作品 合計 105 作品

○「家庭の日」絵画・ポスター展示

・平成 28 年 2 月 23 日(火)

茨城県立県民文化センター「大ホールロビー」

(青少年健全育成茨城県推進大会会場)

②「家庭の日」(第 3 日曜日)の啓発事業として、親子・家族の絆やふれあいづくりを推進するために、「いばらき結婚・子育てわくわくキャンペーン県全域事業」を茨城県と共催で開催した。

期日 平成 27 年 11 月 26 日(木) 10:00 ~ 12:30

会場 ノバホール(つくば市)

内容 ・シンボルマークコンテスト表彰式

・ファミリーコンサート

#### 4 青少年健全育成茨城県推進大会の開催

子育て中の親や青少年育成関係者が一堂に会し、「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業など実践活動の発表や講演を通して、親や大人のあり方、そして子どもへの地域の関わりについて考えるとともに、青少年の健全育成に向けての理解と地域親の普及啓発を図るため、推進大会を開催した。

主催 茨城県(公社)茨城県青少年育成協会 青少年育成市町村民会議

日時 平成 28 年 2 月 23 日(火) 10:00~15:00

会場 茨城県立県民文化センター大ホール

参加者 青少年育成関係者 PTA・学校関係者 幼稚園・保育所関係者  
青少年地域活動団体 県・市町村行政担当者 一般県民等  
約 1,500 人

内容 ○中学生の主張発表

発表者 重松 晃 鹿嶋市立鹿島中学校 1 年

石川 愛華 常陸大宮市立大宮中学校 1 年

稲生 美歩 かすみがうら市立霞ヶ浦中学校 3 年

○実践活動発表

「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業 発表

発表団体 特定非営利活動法人 華の幹

「企画提案チャレンジ支援事業」発表

発表団体 茨城県立茨城東高等学校「We are 涸沼っ子！」

○アトラクション

ひたちなか市立大島中学校吹奏楽部 演奏

○講演

演題 深刻化するネットいじめ その現状と大人の役割  
講師 メディアジャーナリスト 渡辺 真由子 氏

## V 非行防止・社会環境浄化推進事業

### 1 薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の推進

- (1) 茨城県及び茨城県薬物乱用防止指導員協議会が主体となって県内 12 地区で実施した「ダメ。ゼッタイ。」普及運動ヤング街頭キャンペーンに参加協力した。
- (2) 県立青少年会館に薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」看板を設置し広報啓発を行った。

### 2 未成年者の喫煙防止活動の推進

茨城県未成年者喫煙防止対策協議会が主催となり、県関係機関、市町村民会議、県青少年相談員連絡協議会、県更生保護女性連盟、茨城県たばこ販売協同組合、日本たばこ産業(株)東関東支社等とともに未成年者喫煙防止街頭キャンペーンを行い、未成年者の喫煙防止啓発活動の推進を図った。

- ・期日 平成 27 年 7 月 9 日(木)
- ・場所 水戸駅 日立駅 土浦駅 下館駅 古河駅 取手駅  
鹿島神宮駅 勝田駅

### 3 「いばらき青少年・若者プラン」に呼応した活動の推進

茨城県等が主体となって実施した「茨城県フィルタリング普及啓発推進月間」・「春のあんしんネット・新学期一斉行動」周知啓発街頭キャンペーンに参加協力し、有害情報から青少年を守るフィルタリング普及啓発活動を推進した。

- ・実施日等 平成 28 年 3 月 6 日(日) ケーズデンキスタジアム水戸(水戸市)  
平成 28 年 3 月 19 日(土) イオンモール水戸内原(水戸市)

### 4 安全なまちづくり県民運動の推進

茨城県安全なまちづくり推進会議が主体となって実施するキャンペーンに参加協力した。

- ・実施日等 平成 27 年 5 月 10 日(日) 春の全国交通安全運動キャンペーン  
平成 27 年 6 月 9 日(火) 「ロックの日」街頭キャンペーン  
平成 27 年 9 月 19 日(土) 秋の全国交通安全運動キャンペーン  
平成 27 年 10 月 9 日(金) 安全なまちづくりキャンペーン  
平成 27 年 11 月 25 日(水) 「犯罪被害者週間」キャンペーン

## VI 青少年会館運営事業

### 1-1 茨城県立青少年会館（研修室）の運営

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年及び若者の研修、学習、その他の活動を促進することを目的とする施設貸与を行った。

- (1) 研修室及びアイルームの貸出業務及び広報活動の実施
- (2) 青少年等に対する低料金での施設貸与（フリースペースは無料）
- (3) 青少年利用に限定した1年前からの予約受付期間の設定

### 1-2 茨城県立青少年会館（研修室）の運営<収益事業>

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年等以外に対する施設貸与を行った。また、利用者に対してコピーサービスや食事提供の斡旋等、サービス向上のための事業を実施した。

	平成26年度	平成27年度	前年度比
1-1 青少年等利用件数	632件	616件	97.5%
1-2 一般(青少年等以外)利用件数	2,181件	2,451件	112.4%
合計	2,813件	3,067件	109.0%

### 2-1 偕楽園ユースホステル（宿泊室）の運営

指定管理者である偕楽園ユースホステルにおいて、青少年及び若者の健全な旅行を励行し、規則正しい行動を習得させることを目的とする施設貸与を行った。

- (1) 偕楽園ユースホステルの貸出業務及び広報活動の実施
- (2) 青少年等に対する低料金での施設貸与（引率料金の適用など）
- (3) 青少年利用に限定した1年前からの予約受付期間の設定
- (4) 夏休み期間中の休館日における臨時営業の実施

### 2-2 偕楽園ユースホステル（宿泊室）の運営<収益事業>

指定管理者である偕楽園ユースホステルにおいて、青少年等以外に対する施設貸与を行った。一般利用に割引料金を適用して利用者増に努めるとともに、エアコン工事などの安全性・サービスの向上に取り組んだ。

	平成26年度	平成27年度	前年度比
2-1 青少年等利用人数	1,979人	1,784人	90.1%
2-2 一般(青少年等以外)利用人数	1,788人	1,673人	93.6%
合計	3,767人	3,457人	91.8%

## 3 青年リーダーの養成に関する事業

- (1) 若者ボランティアチーム「いばらきユースプロジェクト」の設置運営  
青年たちが自主的な地域活動を通して仲間作りや達成感を体験することで成長し、地域における青年活動のリーダーとなる人材を育てることを目的に「いばらきユースプロジェクト」を組織してボランティア活動を行った。

① “ユース・アイ” フェスへの出店

日程 平成 27 年 10 月 18 日(日) 10:00~15:00

場所 茨城県立青少年会館

内容 “ユース・アイ” フェスの運営協力を行うとともに、メンバーが蒸しパンを作って、それを自分たちで工夫して販売した。

②地域イベント「勝田全国マラソン」への参加

日程 平成 28 年 1 月 31 日(日)

場所 ひたちなか市

内容 勝田全国マラソンにおいて、スタート時の誘導とゴールした選手たちにTシャツを渡す係としてボランティア活動を行った。

③自主企画イベント「午後のおやつパーティ」の実施

日程 平成 28 年 2 月 20 日(土) 13:30~16:30

場所 茨城県立青少年会館

内容 小学生 15 名を対象に、協調性や自主性を育むことを目的として、学校や学年が違う仲間と一緒におだんご作りを行った。

#### 4 青少年及び青年の交流活動を支援するための事業

(1) 青少年会館の子ども祭り「“ユース・アイ” フェス」の実施

青少年と地域の交流の場、青少年団体の活動発表の場、そして青少年の様々な体験の場として、青少年会館を使ったお祭りを開催した。

日程 平成 27 年 10 月 18 日(日) 10:00~15:00

場所 茨城県立青少年会館

参加者 水戸市周辺の親子 約 3,000 名

出店等 模擬店(飲食店等 屋外) 11 団体 体験ブース(室内) 16 団体  
演奏・発表(ステージ) 4 団体 協賛団体(協賛品提供) 2 団体

(2) キッズアトリエの開催

青少年が美術や工芸などの分野を通して感性や好奇心を育み、また学校や地域の枠を超えた同世代の子ども同士で交流を図り、協調性と好奇心を育てる機会を創出するため、体験教室を実施した。

日程 平成 27 年 8 月 1 日(土)、2 日(日)、8 日(土)、9 日(日)

場所 茨城県近代美術館、茨城県立青少年会館

内容 プロの作家や画家等を講師として、美術館見学や粘土作品の制作、茨城県産の西ノ内和紙を使ったランプシェード作りなど

を行った。

(3) いきいきと活躍する若者支援事業

地域における若者の活動を支援するとともに若者間や他世代間のネットワークを構築することにより、地域の活性化と若者活動の活性化を図るため、以下の事業を行った。

①企画提案チャレンジ支援事業

- ・目的 若者が自ら提案・実行する地域課題の解決や元気創出等のための活動、若者団体の活性化・組織強化のための企画提案を支援する。
- ・対象 県内の若者が中心となって活動する団体、グループ等
- ・支援額等 原則 10 万円×30 団体程度
- ・5 月 18 日企画提案の募集を開始し、40 団体の応募の中から審査会により 26 団体を選定した。

No.	団 体 名	
1	MeToo 推進室	(水戸市)
2	Mito kawaii project	(水戸市)
3	泉美・ゆうチーム	(水戸市)
4	五つ星青空教室プロジェクトチーム	(水戸市)
5	茨女 (いばじょ)	(水戸市)
6	いばらきキャンドルナイト	(水戸市)
7	茨城大学地質情報活用プロジェクト	(水戸市)
8	茨城大学ネイチャーゲーム研究会	(水戸市)
9	茨城大学生団体学びと交流の秘密基地	(水戸市)
10	子どもふれあい隊	(水戸市)
11	スマイルプロジェクト	(水戸市)
12	そよかぜナイト 2015 実行委員会	(水戸市)
13	福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト	(水戸市)
14	水戸啓明高等学校	(水戸市)
15	水戸桜川千本桜プロジェクト・ユース	(水戸市)
16	Satoani 文化祭実行委員会	(石岡市)
17	ゲストハウス jicca	(石岡市)
18	いわまユースチーム	(笠間市)
19	ちゃんみよTV	(牛久市)
20	おーちゃんドラゴン講演会事務局	(つくば市)
21	盆踊りプロジェクト	(つくば市)
22	カタリバいばらき準備室	(ひたちなか市)
23	常陸大宮市PRビデオ制作委員会	(常陸大宮市)

24	茨城東高等学校 We are 涸沼っ子！	(茨城町)
25	大洗海の大学	(大洗町)
26	菊吉宇 ※事業未実施のため中止	(筑西市)

・活動報告会の開催

期日 平成 28 年 1 月 30 日(土)

会場 茨城県立青少年会館 大研修室

内容 各団体のプレゼンテーションを審査委員が審査し、最優秀賞 1 団体、優秀賞 2 団体を選定した。

賞	団 体 名	
最優秀賞	ちゃんみよTV	(牛久市)
優秀賞	子どもふれあい隊	(水戸市)
優秀賞	常陸大宮市PRビデオ制作委員会	(常陸大宮市)

②企画提案ブラッシュアップ事業

- ・目的 ①の企画提案チャレンジ支援の提案の中から、将来性のある提案の実現を支援するため、支援委員(若者活動に造詣のある学識経験者等)のフォローによるブラッシュアップ(磨き上げる)をする。

・実施団体

団 体 名		回数
常陸大宮市PRビデオ制作委員会	(常陸大宮市)	1
茨女(いばじょ)	(水戸市)	3
カタリバいばらき準備室	(ひたちなか市)	1
NPO 法人 大洗海の大学	(大洗町)	1
茨城大学学生団体学びと交流の秘密基地	(水戸市)	1
そよかぜナイト 2015 実行委員会	(水戸市)	2
茨城県立茨城東高校「We are 涸沼っ子！」	(茨城町)	4

・ブラッシュアップPR講座

期日 平成 27 年 12 月 26 日(土)

会場 茨城県立青少年会館

講師 企画提案チャレンジ支援事業 支援委員 山崎 一希 氏

出席 企画提案チャレンジ事業参加団体のメンバー 合計 24 名

内容 講師によるPRについてのレクチャー  
グループディスカッション

③全県若者フォーラムの開催



## いばらき若者<sup>まるまる</sup>〇〇ミッションの開催

- ・目的 県内に点在する若者団体のつながりや活動の活性化、仲間作りなどを目的としたフォーラムを開催する。
- ・参加者 18歳以上概ね30歳の若者 173名
- ・企画 公募により集まった若者団体の実行委員により企画運営された。
- ・期日 平成28年2月28日(日)
- ・会場 小美玉市四季文化館みの〜れ
- ・内容 1部 オープニング  
企画提案チャレンジ支援事業 最優秀・優秀団体の表彰  
地域×若者×アイデア！トークセッション  
2部 レクチャー  
東京農業大学教授・内閣官房シティマネージャー 木村俊昭氏  
「地域を変えるチカラとは何か？」  
3部 リレーション  
企画提案チャレンジ支援事業団体によるポスターセッション  
ねば〜る君 ステージ出演

## ④ユース&トップ・ミーティングの開催

- ・目的 若者団体のリーダーと県内自治体や団体の代表者が一堂に会し、地方創生のための意見交換や交流を図る。
- ・対象 若者団体等のリーダー 30名  
自治体、団体等の代表者 6名  
常陸太田市長、笠間市長、茨城町長、イオンリテール(株)専務取締役、(株)常陽銀行常務取締役、関彰商事(株)代表取締役
- ・期日 平成27年11月15日(日)
- ・会場 ホテルレイクビュー水戸
- ・内容 1部 10名ずつ3つの円卓に分かれて、コーディネーターの進行によるミーティング  
2部 自治体・企業の代表者と若者との交流会